

TTドコモが提供する「エリアメール」と、auおよびソフトバンクが提供する「緊急速報メール」を活用し、災害・避難情報を配信しています。

メールは、市内に在るだけで受信が可能で、通常のメール配信サービスとは異なり、災害時でも一斉送信が可能です。また、該当機種をご利用であれば、申し込み不要で、月額利用料や通信料は無料ですので、ご利用ください。

なお、メールを受信するためには、携帯電話の受信設定をする必要があります。機種によっては、対応していないものや一部機能が使えないものがありますので、対応機種や設定方法などは各携帯電話会社のホームページなどでご確認ください。

●久喜市防災行政無線

市では、防災行政無線により、災害情報を放送します。また、その放送内容を携帯電話やパソコンへEメールで配信する「久喜市防災行政無線情報」を提供しています。

災害時における有効な情報伝達手段となりますので、ぜひ登録ください。登録料は無料です。(ただし、登録やメール着信時のパケット通信料・回線使用料は自己負担となります。)

配信を希望する方は、携帯電話またはパソコンから、仮登録用アドレス(kukihousai@mpme.jp)に空メールを送信してください。

QRコード対応の携帯電話の方は、下のQRコードを読み取ることで送信できます。



●ホームページ、ツイッター、フェイスブック、安全・安心メール
市では、ホームページやツイッター、フェイスブック、安全・安心メールで災害情報の発信を行っています。

災害発生時には、災害に関する情報や市内の道路通行止め情報などの情報を掲載・発信します。

●久喜市災害情報ブログ

市では、ヤフージャパン株式会社との協定に基づき、災害時における避難勧告・避難指示等の緊急情報、災害発生時の被害状況、ライフラインに関する情報、避難所情報等の情報発信を行っています。

また、平常時は不定期に防災情報を発信しています。

パソコンだけでなく、携帯電話・スマートフォンをお持ちの方は、次のアドレス (<http://blogs.yahoo.co.jp/shobobosa>) から利用いただけます。

●災害時応援協定

市では、災害時の対応のために企業、団体、自治体と災害時の応援協定を締結しています。

平成26年度は、次の企業等と締結しました。

- ①平成26年6月26日、埼玉県石油商業組合東部北支部と「災害時における石油類燃料の供給に関する協定」を締結しました。埼玉県石油商業組合東部北支部には、市の災害対応における石油燃料の優先供給および運搬について、ご協力いただけることになりました。

②平成26年7月22日、一般社団法人

東地域づくり協会と「大規模災害時等における防災エキスパート支援に関する協定」を締結しました。同協会には、被害情報収集や災害応急・復旧事業における支援および技術的支援について、ご協力いただけることになりました。

③平成26年8月22日、ヤフージャパン株式会社と「災害に関する情報発信等に関する協定」を締結しました。ヤフージャパン株式会社には、災害時の情報発信について、ご協力いただけることになりました。

④平成26年10月20日、NTT東日本株式会社埼玉支店と「災害時における

愛は人権を
く普通からのつながり

東日本大震災から4年が経過しましたが、この間にも日本列島は多くの災害に見舞われました。記憶に新しいところでは、昨年8月に広島市で豪雨による土砂災害が発生するなど、災害による犠牲者が後を絶ちません。

しかし、昨年11月に、長野県北部で発生した長野県神城断層地震では、幸いにも命を落とされた方が1人もいませんでした。震源に近い白馬村では、家屋の倒壊などにより自宅に取り残された人を、懐中電灯の明かりを頼りに近所の住民たちが救助しました。

また、建設会社のフォークリフトで屋根を持ち上げたり、消防団のチェーンソーで柱を切断したりして救出しました。まさに住民同士の深いつながり

特設公衆電話の設置・利用に関する「覚書」を締結しました。NTT東日本株式会社埼玉支店には、避難所における特設公衆電話の設置および利用等について、ご協力いただけることになりました。

減災に向けて

災害による被害を減らすためには、市民の皆さん一人一人の普段からの備えが大切です。

この機会に家庭や地域、職場などで、普段からの備えを確認しておきましょう。

『絆』があったからです。

災害が起きたとき、高齢者や障がい者、病人や負傷者、子どもなど、いわゆる「災害時要援護者」と呼ばれる人々を助けることができるのは、普段からその近くにいる人、同じ地域に暮らす人たちです。お互いの人権を意識したつながりが、災害のときに重要な意味を持つてきます。

災害に直面したとき、まずは自分や家族のことを考え、周りを気にかける余裕を持つことはなかなか難しいと思います。だからこそ、災害時だけではなく普段から相手を思いやる心を持ち、地域とのコミュニケーションをとり、人権を意識して、お互い支え合って行動していくことが大切なのではないでしょうか。

問合せ 生涯学習課人権教育係(菖蒲総合支所内/内線366)